

「タシマ接骨院 松永」を開院 コロナ時代の不調に幅広く対応

勉強会などでスキルアップも

1820（文政3）年創業の老舗「タシマ接骨院」やデイサービス、コンディショニングジムを運営する（株）タシマ創健（尾道市西御所町、武田幹生社長）はこのほど、福山市松永町5-6-11に新店舗「タシマ接骨院 松永」（廣川由樹院長、電084・939・6088）を開業した。写真。創業以来初の新規出店であり、マ



スク着用によって呼吸が浅くなることや巣ごもりによる運動不足など、Withコロナ時代ならではの心身不調者の急増に幅広く対応したい、と話している。同院は、柔道整復師による手技や器具・機械治療で急性期の痛みを緩和するほか、広島県トレーナー協会へ出向いたり、医師を招いての勉強会を定期的に行って、痛みの根本的解決や再発防止などにも対応できるようにスキルアップに努めている（慢性的な不調には自由診療で応じる）。予約優先制で担当制、診療時間を午後8時まで設け、女性施術者を多く抱えていることなども特長。

2021年に本家姓である「武田」姓を継いだ9代目当主の（旧姓幡中）幹生社長（48）は、04年に当主就任と共に事業を法人化し、家業の接骨院を礎に「機能訓練型デイサービス タシマ」「コンディショニングジム タシマ」を立ち上げて様々な地域ニーズに応えると共に、事業規模の拡大や安定化、スタッフの育成に力を入れてきた。



廣川院長（左）と武田社長（右）

顧客との信頼関係を大切にするという企業理念を体得し、高い技術を得たスタッフが多くなってきたが、独立開業してもなかなか軌道に乗りにくいという昨今の社会的状況から、新店舗を出店することでスタッフの更なる成長の機会を創出した。



が製造した特殊素材を利用した超発熱素材「HINATA（ひなた）」を使ったダウンジャケットを開発。写真。クラウドファンディングMAKUAKE（マクアケ）でのみ販売する。期間は10月30日（日）までで、最大6千円引きで売り出しているが、受注分後は一般販売を行わないという。

カイハラ

超発熱素材でダウンジャケット
太陽光を吸収して+20度を実現
MAKUAKEで10/30まで

来年初業130年を迎える、ブルーデニムでは国内トップシェアを誇る生地製造業のカイハラ（株）（福山市新市町常1450、貝原護社長、電0847・57・8111）はこのほど、同社

武田社長の話「呼吸と姿勢、身体の軸を整えて、しなやかな動きを取り戻すことが元氣なカラダと豊かな人生を実現させます。尾道市内で長年行って参りましたが、今後は、福山市西部

の皆様の健康増進または健康寿命延伸のお手伝いをさせていただければ幸いです。」
営業は午前9時—正午と午後3時—8時。土曜午後と日曜・祝日は休み。